

経営比較分析表（令和6年度決算）

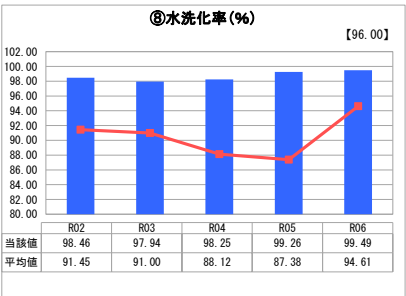
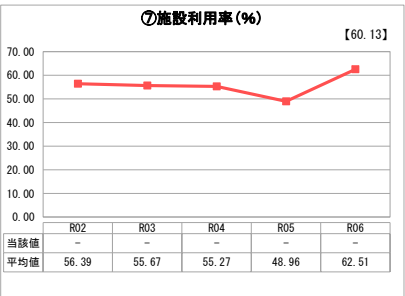
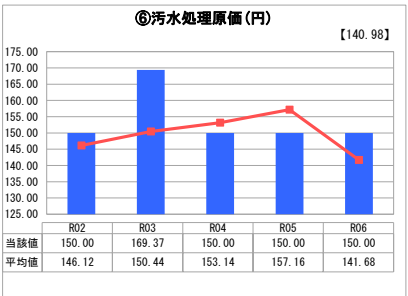
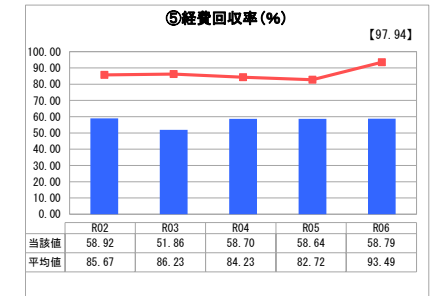
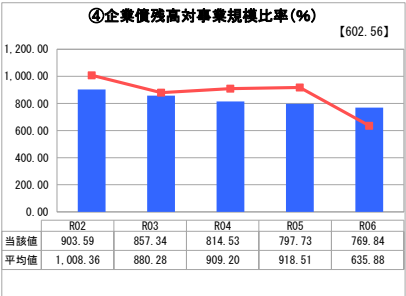
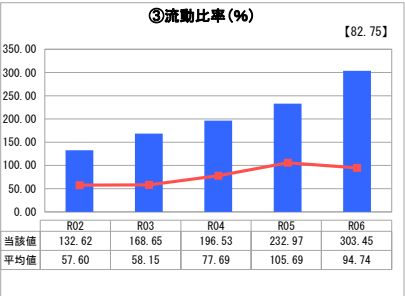
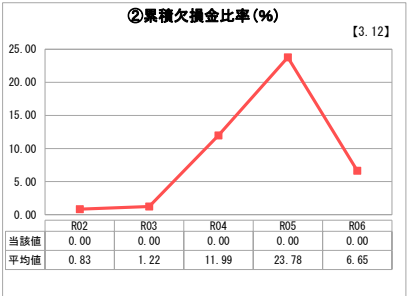
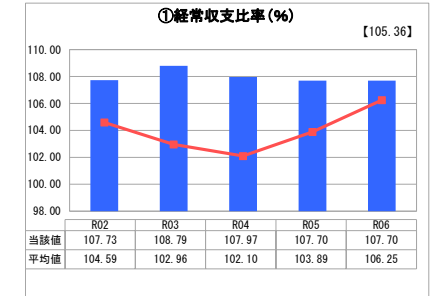
静岡県 長泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.78	80.80	98.96	1,650

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
43,705	26.63	1,641.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
35,133	5.03	6,984.69

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を上回る黒字状態を維持しています。
- ②累積欠損金比率
累積欠損金はなく、健全な財務状況を維持しております。
- ③流動比率
200%を上回っており、短期的な債務に対する支払い能力があります。
- ④企業債残高対事業規模比率
企業債残高のピークは過ぎており、企業債残高規模は減少傾向にあります。
- ⑤経費回収率
維持管理費に対して、使用料単価が低いことが、経費回収率が低い要因となっています。
- ⑥汚水処理原価
有収水量が増となり、流域下水道維持管理負担金の単価見直しを行い、令和6年度に減となりましたがその他の維持管理負担金は増の傾向にあります。
- ⑦施設利用率
流域関連公共下水道として、県が狩野川西部浄化センターで汚水を処理しています。
- ⑧水洗化率
水洗化率は、高い水準を維持し望ましい状態となっています。

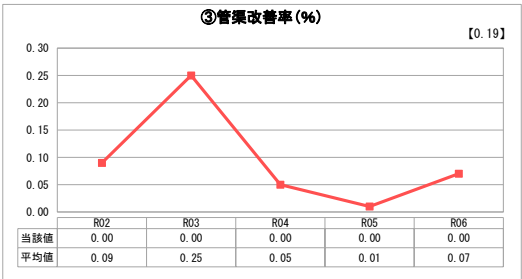
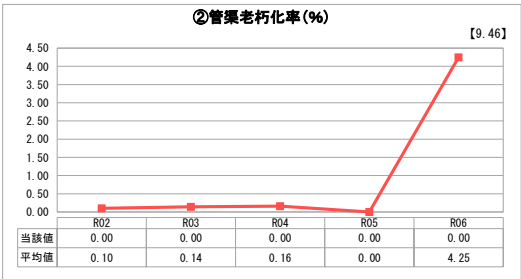
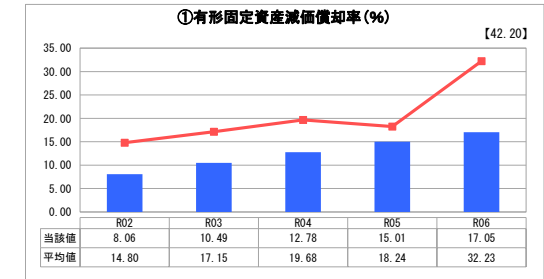
2. 老朽化の状況について

今後、下水道整備から30年以上経過する管渠が増加していきますが、当町の管渠は塩化ビニル管が多数を占めているため、劣化に対するリスクは低いと考えております。

しかし、ストックマネジメント計画により計画的かつ効率的な点検調査を実施し、併せて改築修繕を実施する予定です。

また、下水道未普及解消へ向けた、整備も実施するため財源確保も必要となります。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道ビジョンや経営戦略の見直しを行い、使用料改定の検討を進め、持続可能な事業経営を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。